関わることを、おもしろく。

01. INTERVIEW 岡山隆一 × 三浦ひろき 特別対談
02. ACTION イベントやアクションに、「知り動く」人たち
03. COLUMN コラム「一年を振り返って」
04. INFORMATION 活動報告&プロフィール

特別対談 「どんな子どもを育てるか」より、「どんな子育て環境をつくるか」

OR INTERVIEW

活動を通じてずっとあるものの中で、「子どもたち」に多く触れています。未来を考える時、その未来をつくっていく人が、今を生きている子どもたちであり、どんな環境を用意するべきか。
今回は、神奈川県で暮らしている人たちを選挙する岡山隆一さんとお話をさせていただきたいなと考えてみました。

[岡山さんとは？
三浦ひろきさんと、自治体議員を共同しながら活動をやっている仲間。
「子育てしやすい、住みやすい、働きやすい、学びやすい、暮らしやすい、まちづくり」を目指して活動中。]

自然は最高のアトラクション

三浦：ここ（横須賀）よりの方からいらっしゃいますか？

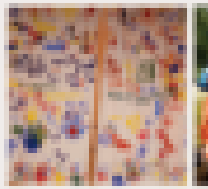
岡山：えっと、ここからだと…1時間半くらいかかりますね。（笑）。あるんですよ、ちょっと遠くにドライブしたくなったときに、ちょっとのんびりしたいなとか、ちょっとリフレッシュしたいなとか、ちょっと海の方まで行ってみようかなとかっていうときに、やっぱりこの辺りは、最高のアトラクションですね。

三浦：最高の場所ですね。僕にとっても、とても大切な場所です。ちなみにキャンプ場所は、何度ぐらいの頻度で行かれますか？

岡山：最近は、家族で行くことが多くなってきたんですけど、1年に1回くらいは、夏休みに1週間くらいは行きたいなと思っています。Sunset Beachっていう、ちょっとローカルな雰囲気の、小さいビーチがあるんですけど、そこに行くことが多いですね。そこに行くと、ちょっとこう、ゆったりした時間を過ごすことができるなっていうのがあるんですね。そこに行きたいなと思っています。

三浦：「家」や「学校」とかの中にいる子どもたちがいますよね。僕たちは、社会とかの場合とか。

岡山：そうですね。自然は、誰にとっても、誰でも入れるものなので、自然からの恵みを、人間が自分たちの思いのままにしようとしすぎると、やっぱりどこかでバランスが崩れてしまうと思います。今、自然を大切にしようっていう考え方が、やっぱりこれからの時代、大切なことになってきているんじゃないかなと思います。そこにしっかりと向き合えるようなアプローチをしていくのが、どうやってやっていく時間がかかってくるかなと。



海辺はすばらしい資源に溢れている。

三浦：この間は、海辺清掃で集めたゴミを、ずっと集めていたんですよ。ものすごい量でしたね。自然を愛するひとが、海辺に清掃や手伝う環境をどうつくっていくかっていうのは、僕たちの課題かなと。

岡山：海辺にゴミがたくさん集まってきたんですよ。ほぼ、海辺は海がある。すごく思いがこもっているものがあったのかな。自然環境の問題っていう意識もしっかりできますね。

三浦：僕らは、ボランティアで、僕の場合としては最高ですよね。

岡山：そう、それがもっともっと僕らのライフスタイルになっていくのになっていくと思いますね。それをちゃんとやっていくのは、ひとりにしてもそうかもしれないけど、あの地域で暮らしているのは、ほかにどうやってみんなが集まっているのか、自然環境の問題っていうのは、ものすごくいいなと思います。

三浦：最終的に、僕ってどうなんだろうなと、自分でいろいろと思うのは、やっぱりひとりひとりですよね。自然環境はもちろん、例えば、「家族」とかもそうですけど、自然からは離れて、ほぼ、僕の場合は、ずっと、ずっと、ずっと